

みなみちた 議会だより

第 136号

平成23年8月1日



浜開き式（篠島海水浴場）

◇ 6月定例議会〔5月臨時議会〕

新しい議会人事決まる	2 ページ
一般会計補正予算などを可決	3
町の考えは・一般質問6氏	4
議会目録	10

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18

発行 / 南知多町議会 ☎ 65-0711

編集 / 議会広報特別委員会 FAX 65-0694

新しい議会人事・議会構成決まる

6月議会最終日（7月5日）、議会役職の改選が行われ、議長に鈴川和彦氏、副議長に榎戸陵友氏が就任しました。

就任のごあいさつ



議長 鈴川和彦

暑さ厳しい折、町民の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

町制五十周年を迎え飛躍を誓う年に、議員の皆様さん方より議長へのご推挙をいただき、誠に光栄でありますとともに、職責の重さを痛感しております。

もとより微力ではございますが、これからの町の発展と、町民のよりよい生活の実現のため、誠心誠意、円滑な議会運営

に努め、また、町議会のさらなる活性化や議会機能の向上に向けて、全力で取り組んでいく所存であります。

今、地方分権の進展により、地域のなすべきことは地域自らの責任で判断し、町民の負託に応えていくことが求められております。

本町を取り巻く社会的・経済的状况も一段と厳しさを増す中で、町議会の果たす役割への期待もより高く求められてまいります。そのためには、町議会と行政が時代認識を共有し、緊張感を持続し、また、責任ある施策の推進に向けて、過去の先例や慣行にとらわれないことなく、積極的な議論



副議長 榎戸陵友

等を展開していかねばならないと考えております。今後とも、町民皆様や議員の皆さんのご支援・ご協力をお願い申し上げます。議長就任のごあいさつとさせていただきます。

盛夏の候、町民の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度の議会人事において、議員各位のご推挙により副議長に就任致しました。浅学非才な私ですが、職責の重大さを認

識し、皆様の負託にお応えをしていく覚悟でございます。

本町を取り巻く情勢は大変厳しく、前途多難であります。少子高齢化への対応はもとより、行政改革、経済の活性化、学校教育の改革等は、焦眉の急務であり町民的課題となっております。

また、3月の東日本大震災を鑑み、防災体制の再考察が、皆様の安心安全で平和な生活のための喫緊の重要事項と促え、町当局に様々な提言をしていきたいと考えております。

今後、町執行部と車の両輪のごとくバランスを保ちながら切磋琢磨し、魅力ある南知多町の建設に邁進するとともに、議会の代表の一員として議長を補佐し円滑な運営に努めてまいれる所存でございます。

最後に、今後も議会に対し、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念して就任のごあいさつとさせていただきます。

議会の構成

◎委員長 ○副委員長

特別委員会		議会運営委員会 (6名)	常任委員会		副議長	議長
地域公共交通 対策特別委員会 (12名)	議会広報特別 委員会 (4名)		文教厚生委員会 (6名)	総務建設委員会 (6名)		
(議員全員)	◎竹内壽一 ○山下節子 榎本芳三 吉原一治	◎鈴木欽夫 ○榎本芳三 榎戸陵友 沢田清 鳥居恵子 吉原一治	◎鳥居恵子 ○相川成三 石黒充明 鈴川和彦 山下節子 竹内壽一	◎吉原一治 ○榎本芳三 榎戸陵友 沢田清 松本保 鈴木欽夫	榎戸陵友	鈴川和彦

平成23年度一般会計補正予算などを可決

6月定例議会は、6月22日に開会、14日間の会期を経て、7議案を可決、4議案（意見書等）を否決し、7月5日に閉会しました。

議案の審議結果

◎全員賛成で可決 ○賛成多数で可決
×否決 (議長は賛否に含まない。)

予算関係議案

◎平成23年度一般会計補正予算（第1号）

条例関係

- ◎暴力団排除条例の制定
- ◎町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ◎条例の一部改正
- ◎議会委員会に関する条例の一部改正（議員提案）

その他の議案

- ◎人権擁護委員の推薦
- ◎教育委員会委員の任命同意

意見書等（議員提案）

- ×国民健康保険を都道府県単位とする「広域化」計画を中止し、国庫負担の復元を求める意見書 (賛成1・反対10)
- ×浜岡原発の永久停止、老朽化した敦賀・美浜原発の「延命」中止と再生可能エネルギーへの転換の促進を求める意見書 (賛成2・反対9)
- ×特別養護老人ホームの早期の建設促進を愛知県に求める意見書 (賛成3・反対8)
- ×住宅リフォーム助成制度を愛知県に求める意見書 (賛成4・反対7)

一般質問

- | | |
|-----------|--|
| 1番 榎戸陵友議員 | (1) 早急に防災対策の見直しを |
| 2番 榎本芳三議員 | (1) 地震・津波防災対策について |
| 3番 吉原一治議員 | (1) 結婚支援事業の推進について
(2) プレミアム付商品券発行事業について |
| 4番 鳥居恵子議員 | (1) 大切な命を守れ
(2) 女性も男性も個性と能力を発揮する町へ
(3) 保育所に外国語環境を |
| 5番 鈴川和彦議員 | (1) 産業の活性化で地域を元気に |
| 6番 山下節子議員 | (1) 安心・安全なまちづくりに全力を
(2) 平和行政の推進を
(3) 浜岡原発廃止を
(4) 町制50周年記念について |

一部事務組合

■知多南部衛生組合議会議員（4名）

鈴川和彦 榎戸陵友

鳥居恵子 松本 保

■知多南部消防組合議会議員（4名）

鈴川和彦 榎戸陵友

吉原一治 榎本芳三

■知多地区農業共済事務組合議会議員（2名）

鈴川和彦 吉原一治

■知多南部広域環境組合議会議員（3名）

鈴川和彦 榎戸陵友

鳥居恵子

5月臨時議会（5月17日）

◎専決処分の承認（国民健康保険条例の一部改正）

◎工事請負契約の締結（豊浜中学校本校舎等耐震補強及び外壁等改修工事）

早急に、防災対策の見直しを



榎戸陵友議員

問

3月11日に東日本大震災が勃発した。千年に一度というこの天災の被害は甚大だ。津波により町が壊滅状態のところがいくつかある。

5月現在の死者は十二都道県で一萬四九八一人、不明者は六県で九八五三人である。犠牲者への哀悼の意を表するとともに被災された方に心からお見舞いを申し上げたい。

この地方でも、今後30年間に東海地震、東南海地震、南海地震が発生する確率が、八七%といわれている。津波に備え、港湾及び堤防、水門、樋門など防災設備を再検討する必要があると考えるがいかがか。

答

早川建設経済部長
愛知県防災会議において、東海・東南海・南海地震の三連動地震による津波の予想見直しが必要であれば再検討する必要があると考えている。

問

津波の際の避難場所及び防災基地をどのように考えているか。

答

齋藤総務部長
平成18年度に全戸配布した津波避難防災マップでお知らせしているが、三連動の地震が発生した場合を想定した津波避難場所については、すでに見直しに着手している。

問

屋外の住民に津波の襲来を告げる方法として、同報無線の整備が必要であると考えているがいかがか。

答

東日本大震災を踏まえ、迅速に幅広く情報伝達をする手段として、同報無線の整備に向け検討している状況である。

問

屋内の住民に津波の襲来を告げる方法として、個別受信機の整備が必要であると考えているがいかがか。

答

原則必要と考えている。当初は公共施設に設置し、全世帯への導入は、費用負担も含め今後検討していきたい。

問

東日本大震災では、高台に避難して命拾った人が多数いる。各地区から要望があれば、避難路の整備あるいは設置が急務と考えるがいかがか。

答

早川建設経済部長
高台への避難路については、地元区等と連携して、すでに説明会を順次開催している。現在避難路となっている町道の改善を始めとし、他の避難路として有効な町道等に対して、地元区等と要望箇所の現地確認を行い、順次整備していく。

問

大井区においても二本の避難路が必要と考える。まず一本目は、西・中組の住民のために、現在閉鎖されている経路をいざというときには、開閉できるようにし、手すりや階段の整備をしていただきたい。



▲上ノ山周辺の工事現場

また、二本目として、浜・南組の住民のために、現在計画中である医王寺から上ノ山への散策道を避難路と共用し、費用の助成と整備をお願いしたい。できれば町の全額負担で実施していただきたいが、いかがお考えか。

答

一本目の経路は、現在、この場所では老朽化したモルタル吹き付けを新しく直す工事を行っている最中で、斜路及び転落防止柵を県が施工し、再び通行できるようにする。

答

齋藤総務部長
二本目の医王寺から上ノ山への散策道の整備については、大井町づくり協議会より町地域振

問

震災後に保育所、小学校、中学校などに避難訓練の実施を指導したか。

答

石垣厚生部長
保育所では従来より毎月、地震、火災等の避難訓練を実施している。

答

日比教育長
小・中学校においては、今回の震災を受けて実施した学校もあるが、検討をしている学校には、早急に実施するよう指導した。

地震・津波防災対策について



榎本芳三議員

問

今年3月11日に東北地方を襲った地震・大津波では、多くの人命が失われ、家、財産、人々の大切な思い出さえもが流されてしまった。被災地の方々にお見舞い申し上げるとともに、本町にとっても防災対策は緊急の課題と考える。私は昨年6月議会においても、災害時に各家庭に通報できる同報無線など放送設備を整備するよう問いただしてきた。町財政の厳しいことは承知しているが、町民の生命と財産を守るうえで放送設備は必ず必要となる。今回の大震災でも南三陸町の女性職員が自らを犠牲にしてまで防災無線で津波の襲来を呼び掛け続けたことだろうか。本町としても津波対策費を予算化し、国、県に強く働きかけるなど積極的に取り組まなければ、厚い支援

は受けられないと思う。平成20年度から津波・高潮防災ステーションが運用されているが、その後実施された地震・津波対策事業はどのようなものがあるか。

答

早川建設経済部長 平成20年度以降、町の事業では、豊丘・大井・日間賀漁港で樋門五基、陸間十基を改築した。また、県の事業では、内海川樋門の耐震化を始め豊浜・師崎漁港の陸間三基の改築を実施し、加えて津波・高潮防災ステーションで樋門の遠隔操作ができるよう整備した。

問

私は過去二回、地震・津波対策を質問してきたが、その心配は不幸にも東北地方において現実のものとなってしまった。本町においては、この震災を教訓として、どのような防災対策を考えているか。

答

齋藤総務部長 東海・東南海・南海地震の三連動の被害予測を考えたい見直し

を図っていくが、現時点では予想の三倍として、海抜六メートル以下にある津波の避難場所を変更していきたいと考えている。また、新たな防災マップに等高線を色分けし地盤高を周知するとともに、海抜表示板も設置する。住民の皆様への伝達手段として同報無線の整備に向けた電波伝搬調査を実施し、安全安心なまちづくりの実現を目指して、防災体制の強化を図っていく。

問

内海の千鳥ヶ浜を始めとする海岸護岸は、設置から約五十年を経て老朽化が進んでおり、早急に改良工事が必要と考える。この地区は、津波で深刻な被害が発生する恐れがあるが、どのように考えているか。

答

老朽化対策としての長寿命化のため、の工事は今後必要と考えている。また、津波の予測見直しによる嵩上げ

答

早川建設経済部長 現在は築造基準を満たしているため、県に要望を出せないが、津波の予測が見直されれば、再検討のうえ必要があれば要望していく。

問

昭和19年の東南海の津波に襲われた三重県南部の大紀町には、「錦タワー」という緊急避難塔が設置され、避難路や避難階段もできている。本町も住民、観光客の避難計画を強化する必要があると思うがどうか。

答

齋藤総務部長 現在、避難場所の修正を地元区と相談している。避難路も地域の方と相談しながら決めていくと考えており、草刈りなど地域の方でできることは地域でお願いしたい。その中で費用等の要望があれば、その時点で検討していく。



▲老朽化の進む内海千鳥ヶ浜の海岸護岸

結婚支援事業の推進について



吉原一治議員

問

本町の経済を支える地場産業の後継者には、結婚相手となる女性との交流の機会が少なく、未婚の方が少ない。このことが、地元産業の後継者の育成を困難にし、また、町の産業の活力を低下させることもなっている。

町の人口が減少する中、人口減少に歯止めをかけ、活気あふれる町とするためにも、結婚支援事業は、町としても積極的に取り組まなければならない重要課題であると考える。平成23年度の当初予算に、未婚者支援対策事業委託料として、六四万円が計上されているが、この事業の実施時期はいつごろの予定か。

答

早川建設経済部長
今年8月頃に参加者の募集を行い、10月頃お見合いパーティーを実施していく予定である。

問

この事業によって、一組でも多くの方が結婚相手に巡り合うことができれば、町の人口減少ストップ政策の一環となるとともに、農業、漁業、商工業、観光などの後継者確保対策としても地場産業の振興に結びついていくものと期待している。この事業の具体的な内容と、参加募集人員はどうか。

答

参加者については、男女各二十名を募集する予定である。また、事業の具体的な内容については、実施す



▲地場産業の後継者の確保を

問

この事業を、漁業協同組合と商工会及びJAあいち知多農業協同組合で構成する団体をお願いし、まず、参加者男女別にお見合いパーティー参加のための事前セミナーを受講してもらい、その後、日を改めてお見合いパーティーを開催する予定である。

答

町としては、一組以上の成立を期待している。

問

今年度の事業によって何組の成立を見込んでいるか。

問

武豊町でも同様の事業を実施しているが、参加者へのアンケートでは九〇%の方が事業の継続を希望している。また、結婚支援事業は、町長のマニフェストに掲げられた人口減少ストップと町の地場産業振興という重要課題の解決に有効な事業である。今後の事業継続についてどう考えているか。

プレミアム付商品券発行事業について

問

プレミアム付商品券は平成21年度に南知多町商業協同組合が売り出し、地元店舗に相応の経済効果があったと聞いているが、事業の実施状況と結果はどうか。

答

早川建設経済部長
平成21年度に発行したプレミアム付商品券は、千円券が六万枚で、今年三月末での回収率は九四・八%である。

問

本年度は、町制50周年記念事業として、五四八万円が予算に

答

石黒町長
結婚相手を見付けることは、第一義的には本人の問題であると考えられるが、地場産業を絶やすことなく、継続して発展させるための基礎づくり事業として続ける考えである。

問

計上されているが、この事業の実施時期と期待する効果はどうか。

答

今年7月と12月の販売を予定しており、地域経済の活性化を期待している。

問

地域の産業振興のためにも、今後も同様の事業を継続していく考えはどうか。

答

事業の継続については、今後検討していく。

大切な命を守れ



鳥居恵子議員

問

地域住民の命を守るためには、住民への情報伝達・収集を迅速かつ円滑に実施する必要がある。本土側のケーブルテレビ、離島におけるオフブロードの活用や消防団等による巡回放送以外に、今後整備する情報伝達方法は何か。

答

齋藤総務部長
伝達方法として本年度エリアメールを導入する。また、同報無線は、導入価値、導入方法を検討するため、予定を一年前倒しして電波伝搬調査を行い、その結果が良ければ24年度に基本設計、実施設計、25年度に設置工事、26年度に供用開始が可能となる。

問

高台への速やかな避難経路の設定や高齢化社会の中での整備をどのように考え進めていくのか。

答

避難経路は、地元区等と連携して、すでに説明会を順次開催している。また、高齢者にも配慮した避難経路の設定も関係者の方々と協議して進めていきたいと考えている。

問

今後の防災対策強化を図るため、町の組織を見直す必要があると思うがどうか。

答

防災担当の部署を充実する必要があると考えている。



▲師崎地区の津波避難訓練

問

公共事業の削減に伴い町内建設業者の保有する重機が減っているが、災害時の建設重機とそのオペレーターをどう把握し、確保していくのか。

答

早川建設経済部長
土木業者の機材は、公共事業等の受注件数の低下などから自己所有ではなく必要なときにリース業者から借り受け工事を行うようになってきたので、災害発生時に対応できなくなることも考えられる。町内業者の

方と災害時の応援協力体制について、見直すための協議を行う必要性を強く思っている。

女性も男性も個性と能力を発揮する町へ

問

多様な働き方を可能にする環境づくり、男女ともに自立し安心して暮らせる社会を目指していくべきであると考えるが、町の男女共同参画施策に対する満足度の推移と今後の展開をどう考えているのか。

答

齋藤総務部長
本町における男女共同参画の施策は今まで行っていないので満足度は非常に低い数字だった。今後は、満足度の向上を図るため、既に準備に着手しており、早い段階で町民の方を中心に組織する「男女共同参画プラン策定委員会」を立ち上げ、町に適したプランの策定に取り組んでいきたいと考えている。

保育所に 外国語環境を

問

保育所入園児に対し、早期より外国語と親しむ環境を整備することによって、将来の外国語教育に大きな効果が期待できるものと考えている。小学校入学前に、早期の外国語活動を始めることの効果について、どう考えるか。

答

石垣厚生部長
保育所の保育は養護と教育が一体となって展開され、外国語を学ぶ対象は低年齢化する傾向にある。保育所においては、教育として外国語に取り組むことは、現在のところ考えていない。

問

外国語を使つての遊びはできないか。

答

英語に馴染んでほしいという観点から英語版の音楽CDや絵本を購入し、本年度より、英語が自然に耳に入り、親しみが持てる機会をつくっているところである。

産業の活性化で地域を元気に



鈴木和彦議員

問

近年の少子高齢化の急速な進展や、それに伴う人口減少などの様々な社会構造の変化の中で、町長の最大の政策である人口減少ストップに対して、町高齢化対策の今後の展開はどう考えているのか。

答

石垣厚生部長

高齢者が、この住み慣れた町で、いつまでも健康で生き生きとした生活が送れるよう、さらには、生きがいや充実感を持って過ごしてもらうことを目指し、高齢化対策に取り組んでいきたいと考えている。また、本年度は「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の見直しを実施し、高齢者が生き生きと暮らせる健康・福祉のまちを目指す。

問

子育て支援事業の持続性、又は、今後の事業展開はどう考えていくのか。

答

今後の子育て支援事業は、さらに充実した持続性の持てる子育て支援ができるよう、子育て支援金の廃止も含め、調査・検討を進め、安心して子育てができる環境づくりの推進に取り組んでいきたいと考えている。

問

町の産業の活性化をどう展開していくのか。産業の活性化が今後の町の運命の分かれ道とも考えており、町の重点施策としての進め方は何か。

答

早川建設経済部長

町の主要産業である農業、漁業、食品加工業、観光業などの産業の低迷により地域産業は大変厳しい状況である。それに加え東日本大震災による消費者の購買力の低下、風評被害とも言うべき魚価の下落や観光客の減少により厳しさも一層である。

本町としては、各産業の活性化に向け、農業、漁業、商業、工業、観光業が連携して、販売促進



▲豊浜漁港魚市場

などを進めるとともに、地域資源を生かした新たな商品開発などを通して産業の育成や雇用の場の確保を図りたいと考えている。

また、将来の地場産業を支える担い手や後継者の確保・育成については、他地域からの受け入れ体制を各産業の方々と協力して強化する。農業体験や漁業体験を通して地場産業の宣伝を町の内外に発信していく。

問

観光客の激減に対し、町は何か特別な考え方を持っているか。

答

石黒町長

観光客の増加は、本町全産業が一体として取り組む必要がある、その先頭を観光業に担っていただきたいと考える。

人口減少を止めるため役場組織の再編を検討している現在、観光業が行政に期待する役割に十分応えることができる組織を編成することが重要施策と考えている。

問

愛知県内に観光協会等その他の産業における専門職・特別職があると聞いているが現状はどうか。

答

早川建設経済部長

観光協会等における外部からの派遣又はOBがいる観光協会は、蒲郡市、犬山市、新城市、田原市である。大きいところでは豊橋市の観光コンベンション協会、さらに大きいところでは名古屋市の名古屋観光コンベンションビューローである。

本町としては、各産業の活性化に向け、農業、漁業、商業、工業、観光業が連携して、販売促進

安心・安全な まちづくりに全力を



山下節子議員

問

東日本大震災は未曾有の災害をもたらした。懸命の復旧、復興が進められている。予想される東海・南海地震ではマグニチュード八・二七、震度六強の揺れが想定され、南海地震との三連動、更には南海トラフ沿いに新たな震源域の存在の可能性とそれと連動した四連動地震も想定され、津波は想定

の二倍程度まで高くなる可能性があると、東京大学地震研究所の古村孝志教授は指摘している。住民の命と財産を守るためにも、一刻も早く同報無線設備を整備するべきと考えるがどうか。

答

齋藤総務部長

設置場所が確保できたとして最短の場合で、平成23年度に電波伝搬調査、24年度に実施設計、25年度に設置工事を予定している。

問

防波堤の総点検、改修、嵩上げを県当局へ要請することについていかががお考えか。

答

早川建設経済部長

老朽化の激しい箇所は、順次改修を実施している。今後、津波予測の見直しがされれば、県に対策の検討を要望する。

問

水道管の耐震化促進についてはいかがか。

答

災害時は、飲料水の確保を最優先に

考えているので、自動的に配水池の弁が遮断され貯水することができ緊急遮断弁の整備を進めている。

問

住宅耐震診断を強力に誘導するための対策はどうか。

答

昭和56年5月31日

以前に建築された民間木造住宅で、平成15年度から無料耐震診断を開始した。平成22年度までに三八五棟が耐震診断を受け、これまでに二十

問

一棟が耐震改修を実施した。23年度は十二棟の改修を予定しており、今後も継続していく。

問

移動困難者の安全確保について、具体的対策はどうか。

答

齋藤総務部長

障害者、要介護者高齢者など災害時要援護者の安全確保対策には、あらかじめ民生委員や、地域包括支援センター、区などと連携して情報の共有化を図っている。

問

町がイニシアチブを発揮して、災害弱者を支援する体制の強化を図り、日頃から準備することが大切であると考えているがどうか。

答

自主防災会で共助の大切さを話して

問

防災マップに等高線を追加し、津波の高さや到達時間を表示するとともに、液状化マップを作成して、全戸配布してはどうか。

答

避難場所、避難経路の見直しをし、区等と協議をして年度には配布をしたい。

平和行政の推進を

問

6月7日、美浜町が、非核自治体宣言をした。本町においても、3月議会では前向きな答弁があったが、非核自治体宣言を考えてはどうか。

答

平和を愛し、核兵器のない世界を希求することは大変重要なことだと考えており、今後、非核自治体に向け検討していく。

浜岡原発廃止を

問

地震、津波によって東京電力福島第一原発事故が起き、いつ収束するのか不明という非常に危険な事態が起きている。静岡県にある浜岡原発は、東海地震の震

答

国、静岡県、御前崎市が、まずは判断すべき問題と考えている。

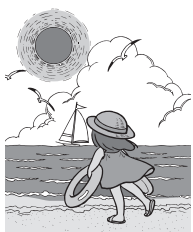
町制50周年記念について

問

子育て中の若い世代が記念行事に参加しやすくなるように、託児ボランティアを活用して欲しいがいかがか。

答

本町には、社会福祉協議会に登録されている託児ボランティア「みかん」があるので、提案の主旨をふまえて、今後実施される講演会等の記念行事で依頼し、活用していきたい。



表紙の写真

浜開き式(篠島)

和太鼓の響きで
南知多の夏開幕

真夏を思わせる暑さとなった6月26日、町内の5つの海水浴場がオープンし本格的な南知多の季節がやってきました。

篠島海水浴場では、海の安全とにぎわいを祈願して浜開き式が行われました。県警機動隊らによる遭難者の救助訓練に続いて、知多半島和太鼓「こころ会」が勇壮な演奏を披露。白砂の海水浴場に太鼓の音色が響き渡ると、海岸は夏本番の熱気に包まれました。

これから町内各地区で、花火大会や祭礼などの多彩なイベントが繰り広げられ、南知多の色鮮やかな夏開幕です。

議会日誌

《5月》

- 10日 議会運営委員会
- 17日 5月臨時町議会
- 27日 定例郡議長会

《6月》


- 15日 議会運営委員会
- 17日 議会全員協議会
- 22日 6月定例議会(初日)
- 28日 建設厚生委員会
- 30日 総務文教委員会

《7月》

- 5日 6月定例議会(最終日)
- 〃 地域公共交通対策特別委員会
- 〃 議会広報特別委員会
- 21日 議会広報特別委員会
- 〃 知多南部衛生組合臨時議会
- 〃 知多南部消防組合臨時議会
- 22日 知多南部広域環境組合臨時議会

- 26日 知多地区農業共済事務組合臨時議会
- 27日 県議長会議長セミナー

町制50周年記念事業 **みなみちた**
子ども未来議会 を開催します



町内各小中学校の代表者(12名)による模擬議会です。

とき 平成23年8月23日(火) 午前9時開会
ところ 役場 議場 (3階)

一般傍聴の受付は、午前8時30分～ 2階総務課へ
《別室のモニターでの傍聴となります》

・・・9月定例会・・・お気軽に傍聴に来てください。
傍聴の受付は、8時30分～ 役場 2階総務課へ

9月8日(木) 9時30分 本会議初日 (開会・一般質問・議案上程)
9月26日(月) 9時30分 最終日 (委員長報告・採決・閉会)

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、
9月25日(日) 午前10時 地上デジタル12ch(121)
26日(月) 午後10時 地上デジタル12ch(122)

編集室より

3月11日、小雪の舞う東北地方を大地震と大津波が襲ってから4か月が過ぎ、季節は春から夏へと移り変わりました。被災地では、梅雨の降雨や厳しい夏の暑さと闘いながら、皆が心を一つにして復興に努めています。

本町議会では、7月5日に正副議長が選出され、当議会広報特別委員会のメンバーも一新されました。私たちも議会の活動状況を広く皆様にお知らせし、心を一つにして、この困難な状況に立ち向かっていきたいと思います。

- 議会広報特別委員会
- 委員長 竹内壽一
 - 副委員長 山下節子
 - 委員 榎本芳三
 - 委員 吉原一治

町の
の
声
を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後の「ご意見・ご感想」を議会事務局までお寄せ下さい。
TEL 059-0064
TEL 059-0064
E-mail gikai@town.minamichita.lg.jp

町のホームページ
http://www.town.minamichita.lg.jp/

再生紙使用